

ウィズ（共に）

2001年9月号

With

〒862-0939

熊本県熊本市長嶺南3丁目2-12

TEL・FAX共通

096-382-0861

http://www.try-net.or.jp/~withs/

共同連愛知大会

高村恭弘



8月24日～26日の3日間名古屋で共同連全国大会が行われました。

初日の午後に労働シンポジウムがあった。堀さんの司会、パネラー4人でした。「事業所と作業所・・・そして未来」題目として司会の堀さんも含めて5人で、今の事業所と作業所の在り方とそして未来を話は聴くと障害者はあくまで利用者で、健常者は指導者それはいつまでも変わらないと思いました。これを無くすように運動をするのが当事者だと思います。

います。

今までは、事業所は事業所で、作業所は作業所の考えですが、これから「一緒にやりましょう」という話も出ました。今の状況では難しいと思います。

共同連の総会は、1年間の活動報告マラソントーク、定例会等の報告がありました。これからの共同連が何を目指してるのか？という説明もありました。行政の人と色々な事を要望を出していきたい、それを良い方になるようにしていきたいと報告もありました。今よりも当事者も健常者もバリアフリーにして住み良い社会になったらいいなと思いつつ話を聴きました。

2日目の午前、分科会1があり、六つの分科会に分かれてありました。「販売」の分科会に行きました。その分科会は、女性センターの前にわっぱの会のパンを置いて通りすだりの人々に呼びかけて売っていました。いつもは、先生の相手に販売をしていますので、路上販売は難しいと思います。

行って良かった共同連

千賀崎和世

バスに乗って福岡まで行きました。福岡から名古屋まで飛行機で飛びました。名古屋空港から高速でホテルに着いて、パネルを見ました。店番を手伝いました。ビアガーデンに行って、焼きソバを食べました。

宿泊は別のホテルでしたので名古屋に住む倉田さんの従兄弟さんにホテルまで送ってもらいました。朝はホテルでバイキングを食べました。分科会は「生活の場作り」の分科会でしたのでバスに乗ってアパートに行きました。きしめんをみんなで食べました。昼からホテルで「ひなたぼっこ」という映画を見ました。夜は交流会がありました。その後ワークショップすずらん泊まりました。

26日は朝からは全体会場のホテルに行ってバイキングを食べ、分科会はリサイクルの会議に参加していました。弁当を食べましたが、少し残しました。



小規模法人化取得にあたって思う事

倉田 哲也

くまもと「障害者」労働センターは今年で17年目に入りました。1985年4月に設立当初は障害者3人で始めて、地域の中で働き生活をする事すらはじめての経験でした。小規模作業所には3年間は行政からの助成金もなく、熊本には制度自体もありませんでした。法治国家日本と言われますが、無認可の作業所に対しての助成金は、県・市・共に国の基準額に横並びでだしています。町、村によっては財政悪化を理由に限度額以下の所もあります。他県によっては、市町村の政策権限により、国の基準額以上に助成している所もあります。21世紀は地方分権の時代と言われていますが、この不況の中、行政も財政赤字を抱え、小規模作業所に対しては一定の政策は終わりを見せました。労働センターは今、メンバーも13人になり、スタッフも3人に増え、す

.....

すべての人の生活を保障していくにあたり、事業の実績を伸ばす事とこれからの労働センターの発展して行くには、小規模法人化にして、使える制度を活用して行きたい。

私事ですが、私の母は3年前に、病死で他界しました。労働センターのメンバーは私を含め30代半ば前後の者が増えています。親の方も高齢になるわけです。親と暮らしている障害者の親亡き後の事をどう支えていくか、そんなことを考える時期が来ているのだと、私は痛感しています。それで私としてはグループホームを事業展開していく事など、これから労働センターの皆に提案し検討課題の一つにしたいと思います。そういうような将来を見すえた計画のためにも、労働センターを法人化することは必要だと考えています。

前回のウイズで、法人化に向けて寄付のお願いを掲載したところ、さっそく問い合わせや寄付を頂きありがたく思います。皆様方には私たちの活動を観て頂く事でしか、返す事が出来ません。私たちが地域で働き暮らして行く事で、差別をなくし、みんなが暮らしやすい社会にして行きたいのです。

法人格取得へのご協力のお願い

私たちの作業所も新装成った現在地で3年目、発足以来16年目を迎えています。初代代表の故池田大輔の遺志であった店舗名「おれんじ村」を掲げることも出来ました。それもこれも、皆様の変わらぬご指導ご援助の賜物と厚くお礼を申し上げます。私たちは「おれんじ村」に誇りを持って毎日の作業に勤しんでいます。

それで、今回法改正され全国的に立ち上げられている社会福祉法人の「小規模通所授産施設」として、私達の作業所も法人格を取得したいのです。法人になれば、グループホームを立ち上げて生活介助が必要な仲間と共同生活が営める等、種々のメリットがあります。取得条件の詳細は省かせて頂きますが、一点を除いて他は全てクリアできます。その一点とは一千万円の資産が必要な事なのです。3年前の移転のときにも皆様が大変お世話になりましたが、私達の作業所が、地域の中で、共に働き、生活する場としてしっかりとした基盤を築き、バリアフリーの社会、高齢化社会に貢献できる法人として継続するために皆様のご寄付をお願いしたいのです。以上、意を尽くしますが、皆様の御協力を心よりお願い申し上げます。一口二千円で、何口でも結構です。（なお、法人後に必要に応じて領収書を再発行いたします。）

ちょっと一息コーヒータイム

24時間テレビ 感動をありがとう。

久島雅樹

今年も、8月18日から19日に24時間テレビがありました。例年なら労働センターは、2日間参加するのですが、今年は19日だけの参加でした。当日は、紙すきと絵手紙教室を行いました。いつもなら、紙すきだけでしたが、今年は絵手紙教室も行いました。絵手紙教室はおれんじ村で毎週土曜日に開いていました。それで、今年は紙すきだけでなく、会場で手すきのハガキに絵を描いてみようという企画で参加しました。

私は、絵手紙教室には参加していませんでしたが、絵を描くのは嫌いじゃありませんでした。菊陽病院に入院していた時、一週間のプログラムに絵画の時間があり、喜んで描いていました。その理由は、他のプログラムは頭を使う難しいからです。唯一無心になって楽しめるのが、絵画の時間でした。足を使って器用に描いていると、他の患者さんが「良く描けるナー」と感心されていました。

24時間TVの真っ最中に、新市街で足を使って描いていたら、通行人の人たちから「すごい」との声がありました。それで、一枚良く出来たのを通行人にあげました。

調子に乗って、描いていたら5枚も描いていました。

毎年の事ですが、暑くて暑くてたまらなかったもので、パチンコ屋を出たり入ったりして、汗をひっこませていました。弾いてはいません。

ステージの上では、関島秀樹さんのライブとトークがあっていたので、見ていました。ライブ終了後、色紙を持って行き、サインを2枚書いてもらいました。そうして時間は過ぎてグランドフィナーレをむかえ、ステージに上がり、サライを大合唱して、今年の24時間TVが終わりました。

終わり。

齋藤縣三氏（名古屋「わっぱの会代表」）

を迎えて記念講演会

くまもと「障害者」労働センター社会福祉法人格取得準備会設立の記念講演を下記の日程で行います。

テーマ 『共生の時代』

場所 熊本学園大学1F

入場無料

日時 2001年10月14日（日曜日）午後1時30分～4時

労働センターに新しい仲間が加わりました

松村圭祐

8月22日から、労働センターのスタッフとして働くことになった松村圭祐です。よろしくお願いします。

実を言えば私の名前の最後の「祐」は旧字なんですね。しかしワープロには、これがないんですね。興味のあるかたは辞書を調べてみてください。

それはさておき。今までの3年のボランティアでは、牛乳パックの回収のみやってきましたが、これからは紙すきを始めとする、他の事もやるようになりました。その紙すきなんですけど、今だにうまくいかない事もあり、他の人に迷惑をかけているなと思っていましたが、センターの皆さんは、「最初はうまくはいかないものだよ。」と、実に寛大です。

こんな私ですが、どうかよろしくお願いいたします。

下村治

生年月日 昭和50年11月30日

歳 25才

趣味 音楽鑑賞

くまもと「障害者」労働センターを知ったきっかけは、小川工業の恩師の栗原先生がウィズという資料をくれて、それを読んで知りました。

そして、労働センターでは働こうと思い、面接を受け、そこの仲間たちと一緒に働くことになりました。

労働センターで働いてみると自分のプラスになることや勉強になることもありました。労働センターの仲間は、明るく一生懸命働く所を見て頑張っているなと思いました。

最後になりましたが、労働センターでバリバリ頑張ろうと思います。こんな僕ですけどよろしくをお願いします。

8月の日報より

18日 絵手紙教室(第1期第10回)
 19日 KKT24時間TV
 20日 県同教社会教育部会(大津)
 21日 私学大会(県立劇場)
 22日 市同教(市民会館)
 22日~23日
 九同教大会(長崎)
 24日~26日
 共同連大会(名古屋)

予定 9月16日~10月15日

18日 課題別研 命と暮らし販売
 23日 県同教講演
 10月
 6日 室小学校紙すき教室
 13日 植木町山本小学校紙すき教室
 14日 労働センター主催講演会

8月牛乳パック回収

旭志中学校	230.8kg
菊之池小学校	46.9kg
長嶺中学校	164.0kg
竜田市民センター	11.6kg
花園市民センター	69.0kg
大江市民センター	24.0kg
西部市民センター	20.2kg
幸田市民センター	27.4kg
秋津市民センター	34.7kg
託麻市民センター	32.9kg
東部市民センター	22.0kg
清水市民センター	78.0kg
南部市民センター	13.0kg
グリーンコープ花園デポ	465.1kg
グリーンコープ菊陽デポ	499.4kg
グリーンコープ長嶺デポ	849.6kg
グリーンコープ平成デポ	264.1kg
グリーンコープ清水デポ	1018.4kg
グリーンコープ鹿児島	800.0kg
グリーンコープ始良	320.0kg
グリーンコープ宮崎	200.0kg
物流センター	2821.0kg

武蔵ヶ丘団地郵便局	63.9kg
南千反畑郵便局	22.0kg
京町郵便局	16.2kg
京町本町郵便局	11.4kg
京町台郵便局	22.6kg
上熊本郵便局	13.0kg
熊本上通郵便局	19.1kg
熊本東郵便局	30.5kg
健軍3丁目郵便局	1.0kg
健軍郵便局	1.7kg
若葉四局郵便局	1.5kg
貯金事務センター郵便局	15.3kg
大江6丁目郵便局	33.1kg
戸島団地郵便局	20.3kg
江津郵便局	20.9kg
出水郵便局	2.5kg
小島郵便局	41.1kg
銭塘郵便局	13.9kg
川口郵便局	3.8kg
黒髪6丁目郵便局	4.6kg
西子飼郵便局	1.0kg
横手郵便局	5.9kg
熊本中央郵便局	36.5kg

米屋町郵便局	5.0kg	スーパーレッドタニダ	93.3kg
田迎郵便局	31.2kg	南小国婦人会	71.5kg
秋津郵便局	37.7kg	松本米店	11.1kg
平成郵便局	10.7kg	熊本市役所	57.9kg
近見郵便局	27.5kg	個人2人分	6.8kg
鉄砲塚郵便局	12.2kg		
北水前寺郵便局	33.7kg		
水前寺駅前郵便局	10.4kg		
水前寺公園郵便局	7.6kg		
本山郵便局	21.0kg	グリーンコープ菊陽デポ	414.2kg
二本木郵便局	14.5kg	グリーンコープ長嶺デポ	207.9kg
川尻郵便局	64.6kg	グリーンコープ清水デポ	353.4kg
長嶺郵便局	15.9kg	YMCA国際センター	7.2kg
河内郵便局	1.0kg	YMCA中央センター	29.9kg
城東郵便局	16.7kg	YMCA長嶺センター	22.7kg
昭和町郵便局	3.5kg	熊本ゼミナール武蔵ヶ丘校	26.7kg
佐土原郵便局	11.0kg	西日本リハビリテーション学院	10.5kg
麻田生郵便局	21.9kg	菊池虹の会	30.8kg
新町郵便局	9.2kg	中小企業家同友会	12.9kg
萩原郵便局	6.0kg		
北帯山郵便局	50.3kg		
新大江郵便局	6.0kg		
野越郵便局	8.3kg		
京陵地域福祉コミュニティセンター	11.1kg		
庄口地域福祉コミュニティセンター	15.0kg		
小島地域福祉コミュニティセンター	11.0kg		
慶徳地域福祉コミュニティセンター	11.3kg		
楠地域福祉コミュニティセンター	10.0kg		
砂取地域福祉コミュニティセンター	12.8kg		
向山地域福祉コミュニティセンター	26.3kg		
飽田総合支所	49.1kg		
天明総合支所	14.4kg		
河内総合支所	11.1kg		
熊本南保健所	32.2kg		
北部保健所	14.5kg		
JA日吉第一支店	6.5kg		
JA河内支店	3.8kg		
YMCA国際センター	5.3kg		
全日食チェーン八王寺店	124.0kg		
中央公民館	5.9kg		
岡田コーヒー	19.2kg		
五福地域開発センター	32.5kg		
台信商店	95.6kg		
熊本総合女性センター	21.1kg		

8月上質紙回収

グリーンコープ菊陽デポ	414.2kg
グリーンコープ長嶺デポ	207.9kg
グリーンコープ清水デポ	353.4kg
YMCA国際センター	7.2kg
YMCA中央センター	29.9kg
YMCA長嶺センター	22.7kg
熊本ゼミナール武蔵ヶ丘校	26.7kg
西日本リハビリテーション学院	10.5kg
菊池虹の会	30.8kg
中小企業家同友会	12.9kg

編集後記

9月に入り、朝・夕は涼しくなりました。でも、日中は残暑が厳しいですね。時間に逆らわず、過ごしたいものです。

これからしばらくは、読書の秋・食欲の秋・スポーツの秋を迎えます。メンバー・スタッフ一同、この秋を満喫しようと、張り切っています。また、労働センターの法人格取得にも力を入れようと動き出しています。これからもご指導、ご支援の程よろしくお願いします。

編集長 久島雅樹